

ほっと通信



今年度、特別支援教育担当の巡回相談は、12月末現在で約600回を数えています。3学期も引き続き、先生方や保護者の方々がお子さんのことをより深く理解し、よりよい向き合い方を実践できるよう、お手伝いできたらと思います。よろしくお願いいたします。

特集：巡回相談における学校の役割

ひとくちに特別支援教育といっても、お子さんの実態や学校・家庭の事情が異なるため、支援の進め方は様々です。しかし、すべてのケースに共通している点は、「お子さんの理解を深めるための情報収集」が支援の第一歩だということです。

困り感を持っているお子さんの情報を集めるといって、どんな方法を思いつくでしょうか。心理士が個別で専門的な知能検査をおこなう、というイメージを持っている先生もいらっしゃると思います。知能検査は「お子さんの全体的な知的発達」「得意なこと」「苦手なこと」をわかりやすく示してくれるので、校内における支援がイメージしやすいというメリットがあります。知能検査を活用することは1つの手段といえます。

しかし、これまで出会ったケースを振り返ると、「知能検査の結果だけから判断するのはむずかしいな」と感じることも多くありました。そんな時、日々お子さんと関わっている先生方の気づきが、より豊かで、実態に合ったお子さん像の理解につなげてくれました。知能検査は決して万能ではなく、お子さんの困り感が生じている状況（学校、家庭）を具体的に情報収集することが重要だと感じました。また、こうして集めた情報が、先生や保護者が無理せず実行できる支援の実践へとつながっていきます。先生方のご協力があればこそ、巡回相談が機能し、お子さんが輝ける支援が実現できるのだと思います。

今回の特集では、八王子市の特別支援教育における巡回相談の流れと学校の役割についてまとめました。学校が主体となった支援が継続できることを願っております。

校内体制と巡回相談との関係について

学校内で行われること

校内委員会

【情報の収集・共有】

- 課題の整理
- 生育歴
- それまでの指導経過
- 対応の実態 など

2 支援の方向性の検討 支援策の立案

ここを話し合ってから
連絡してもらえると
巡回相談がスムーズに
進みやすいです

専門的な判断の必要がある場合
『巡回相談』へ
(電話で申し込みを)

この時、『個別的教育支援計画』
の作成が、とても有効です

各種リソース(資源)の活用例

【校内リソースの活用】

- ・ 特別支援教室での指導
- ・ 少人数指導
- ・ TT指導
- ・ 校内研修(情報の還元) など

【外部リソースの利用】

- ・ 学校サポーター等の人材
- ・ 医療機関
- ・ 相談機関
- ・ 通級指導学級 など

校内における支援の実践 および 再検討

学校全体で支援を進めていくために重要なのが **個別的教育支援計画** の作成です

- 期間を決める(短期、中長期に分けて)
- 変容を評価・検討しやすい『具体的な目標』を設定する

まず、「情報の共有」「継続」を目指して、つくっていただければと思います

巡回相談で行われること

4 【授業観察】

- 対象児童・生徒
- 学習・生活環境
に関する情報の収集

3 【受付】 ☎(直通) 664-1615

- 対象児童・生徒に関する情報
- これまでの支援の経過(相談歴等)
 - 巡回相談に求めるもの
 - 現在の状況(学習・対人・生活) などについて伺います

その後への活かし方等
十分に検討してから
検査を実施するかどうか
判断したいと思います

5 【ケース会議(1)】

- =学校関係者との話し合い=
- 現状(課題)の整理
 - 当面の対応
 - 今後の校内支援・巡回相談の進め方

【アセスメント】

- =現状(対象児童・生徒の
実態や環境)の見立て=
- 観察・聴き取り報告作成等
 - 知能検査→検査所見作成

6 【ケース会議(2)】

- =保護者も交えた話し合い=
- 観察等を踏まえた報告・説明
 - 現状の共通認識
 - ・ 情報の共有
 - ・ 関係者の連携のための共通理解
 - ・ 具体的な指導・支援の手立て など

話し合いの経過によって、「継続か、終了か」を判断しますので、巡回相談の回数等については、個々のケースによって異なります(早ければ、5の段階で「終了」ということもあります)

キーワード

八王子市特別支援教育ハンドブック、改訂版ができました

八王子市の「特別支援教育ハンドブック」をご覧になったことがありますか。特別支援教育に関する情報を「見方・考え方」から「制度」までできるだけわかりやすく紹介しているものです。校内での支援を進めていく過程で悩んだ時や迷った時、きっとお役に立つだろうと思います。

「特別支援教育ハンドブック」の中身を少しだけご紹介します。



I 知っておきたい

校内支援から福祉制度まで、特別支援教育に関する基本が書かれています。今回の特集と関連した部分ですので、ぜひ目を通してください。

II 八王子市の学校支援の仕組み

学校支援を目的とした、八王子市の公的機関（特別支援教育担当、特別支援学校）とその支援内容についてまとめました。積極的に活用してください。

III 障害名

発達障害だけでなく、からだの障害についても簡単に説明してあります。

IV 知能検査（発達検査）

主な知能（発達）検査ご紹介。
「検査の意義」にも目を通してもらえればと思います。

V 学校や学級などの種別と就学相談 （入学・転学・通級の手続き）

都立特別支援学校、国立・私立特別支援学校、市立の特別支援学級や高尾山学園についてまとめました。

VI 相談機関等の活用

お子さんのことや子育てに関する、様々な悩みを相談できる機関（都や八王子市の公的な相談機関、医療機関、親の会）のご案内です。

VII 将来に向けて

都立高校（エンカレッジ・チャレンジ・トライネットスクール）や都立・特別支援学校高等部などを紹介。中学校卒業後の進路の参考にしてください。

VIII 参考資料

- ・障がい者制度改革推進会議
- ・東京都特別支援教育推進計画 第三次計画
- ・八王子づくり条例
- ・八王子市の第2次特別支援教育推進計画

八王子市特別支援教育ハンドブックのお問い合わせ

ハンドブックの内容は八王子市のホームページでもご覧いただけるほか、冊子になったものをお配りしています。「詳しい中身を見たい」「校内研修会で使いたい」「保護者の方にお渡ししたい」など冊子をお求めの方はご連絡ください。

学校教育部指導課支援教育担当 : TEL 620-7446（直通）

特別支援教育担当 : TEL 664-1615（直通）

PHS 070-5022-3986/2809（特別支援教育担当①・②）